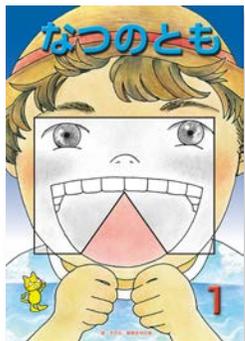


夏休みのガイドブック『夏の友』

～充実した夏休みを過ごすために～



『夏の友』は、夏休みの計画的な生活や学習のガイドブックとして、岐阜県の教師の力によって編集・出版されてきました。『夏の友』ができて70年以上、毎年改善されながら編集が続けられています。お父さん、お母さん、おじいちゃんもおばあちゃんも使われたことがあるかもしれません。

『夏の友』は、長い夏休みに子供たちが豊かな体験や新たな興味関心を深めることを願って編集しました。『夏の友』を活用して、お子さんと一緒に夏休みを楽しく過ごしてください。

『夏の友』が届いたら、お子さんと一緒に目を通しましょう。

- どんな内容があるのか、じっくり目を通してください。
- お子さんにも、目を通す時間をつくってください。
- ご自身の小学生の時の夏休みの様子を話してあげてください。
- もし『夏の友』を使ってみえれば、そのことも話してあげてください。

『夏の友』を使って、夏休みの計画を立てましょう。

- まず、目次をご覧ください。
- 読むところ、家族で体験するところなどを決めていただけるとよいですね。
- 低学年のお子さんは一緒に計画を立ててあげてください。
- ふろくの「夏休みのくらし」を使って、夏休みのめあてや計画づくりのアドバイスをしてみてください。

『夏の友』を使って、一緒に遊んだり体験したりしましょう。



表紙で遊ぼう

『夏の友』の表紙は、図画工作の学年に合わせた内容で制作しています。自分でつくったり遊んだりできる楽しい表紙です。家族や友達と相談したり協力したりして表紙をつくってください。長い夏休みだからこそ、家族や友達とのコミュニケーションを大切にしてください。

夏休みの計画を立てよう

夏休みのめあてづくり、仕事(お手伝い)、健康、運動など、子供たちができる限り自分の力で計画を立てたり、振り返ったりできる内容になっています。付録の「夏休みのくらし」を工夫して使ってください。



じっくり本を読もう

「読書」コーナーでは、物語だけでなく、知識を広げるいろいろなジャンルの本や新しく出版された本を紹介しています。お子さんの本選びの参考にしてください。読み聞かせをしたり、親子で同じ本を読んだりして、親子で楽しい読書の時間を過ごしてください。



豊かな体験をしよう

「家族」「仲間」「地域行事」「平和」「環境」「福祉」「国際理解」など、県内各地で行われている行事や活動を紹介します。子供たちの豊かな体験の参考になるよう工夫しました。

自分もやってみたいと思うような読み物がいっぱいあります。じっくり読ませて、いろいろな体験をさせてください。





ふるさと岐阜を自分の目で確かめよう

県内の特徴ある地域の様子や、そこに伝わる歴史や文化について知ることができます。また、県内の自然、歴史、産業、食べ物、鉄道など、読み物や写真、地図で紹介しています。夏休みにぜひご家族で見学や体験をしてみてください。

岐阜県の宝物を知ろう

裏表紙は、岐阜県の宝物を紹介しています。見学したり体験したりできるよう地図もつけています。現地へ行ってみるのもいいですね。



宝物づくりの参考にしよう

宝物づくりは、「体験する」「つくる」「調べる」ことを大切にしている内容になっています。前年度の友達の作品をたくさん掲載しています。宝物づくりの計画づくりや調べ方、まとめ方の参考にしてください。



『夏の友』で夏休みの振り返りをしましょう。

- どんな夏休みだったか、「夏休みの宝物コーナー」に記録しましょう。
- 家族で今年の夏休みを振り返ってみましょう。



6年間の夏の思い出が詰まった「夏の友」

すてきな夏休みが すごせたよ！



『夏の友』に掲載されている場所を訪ねたり、「たから物作りなんでも情報室」のコーナーを参考に体験したり、調べたり、つくったりしたことを写真や感想をそえて記録しておく、素敵な宝物になります。

『夏の友』には、いろいろな体験や宝物づくりのためのアドバイスが紹介してあります。『夏の友』を夏休みのガイドブックとして活用していただき、お子さんと一緒に、楽しく充実した夏休みをしていただきたいと思います。



国語と算数 ここだけは確かめ、理解しよう

「国語と算数の広場」は、「ここだけはどの子にも理解してほしい」という問題を掲載しています。夏休みまでの学習が定着しているか確かめに使ってください。

- まとめてやるのではなく、計画的に取り組むことができるよう、毎日必ず見届けてください。
- 答え合わせをすることによって、自分の課題を自覚させることができます。まちがえたことに、繰り返し取り組めたら、大いに褒めてあげてください。低・中学年は、お子さんと一緒に答え合わせをし、一緒に確かめましょう。



※ 算数は、「大日本図書」と「東京書籍」の2社の教科書で学習する内容に合わせて問題が作ってあります。片方の教科書では、まだ習っていない内容も含まれていますので習ってから取り組むようお願いください。(3～6年のみ)